

とやま

1991
No.274

11



特集/頭脳基地富山の創造をめざして

「科学技術プラン」の策定

県庁探訪/文化課

ふるさとみてある記/大門町

愛はアイデアを生む

(学)白井学園副理事長
富山デザイン専門学校長

白井 千穂子

「何事にも愛情をもってベストを尽せ」四五年間の服飾教育で、私のモットーは常にこの言葉でした。他に学生・職員から俗に言われる「校長語録」は多々ありますが、この言葉が一番学生たちに浸透している語録です。すべてに愛情、思いやりがあつてこそ豊かな精神が育われ、不可能と思うことも可能ならしめることと思います。まして、「飽食、使い捨て時代」といわれる現代を考えると科学文明が加速度に進行する近未来には、この「心」が喪失される懸念が強く考えられます。肩かごに入る運命のような美しい端布を「もつたいたい」という素朴な愛着心から実は優れたアイデアを生むことになり得ます。

本学では、捨てるものは一切ない位にお互いに楽しみながら余暇の善用を行っています。たとえば、古ネクタイそのままの形を「束ねのし」柄にアップリケその他の付加価値を加えて素晴らしい芸術作品にも劣らぬ壁掛けに変身させたり、室町時代の能衣裳にある「名物裂」からのヒントを古典残布を駆使して素晴らしいイヴニングドレスに仕上げ外国で発表して大好評を得たこともあります。ひとつの素朴な勉強はもとより見捨てられるようなものの中からもアイデアひとつでより大きな付加価値を生み出し美的感動を与えることができるのです。

創造教育と言いますとむずかしく聞こえますが、生活全般の中で身近に存在するものです。無から有によみがえらせることが創造の糸口となり、これが

連鎖反応を起こし多種多様のユニークなアイデアを生み出すことになり得ます。この喜びと感動は条件のそろった中からの創造よりも強烈であり、向学に對するときめきの構築となります。人づくりも同じ



く、本学の学生は「みんな可能生」として教育されています。その感動と誠意で物に打ち込むとき、より自分が活かされるので人生はこの連続でありたいと願うのです。重ねて申しますが、物の命を大切に最大

限に活かす心がけと習慣づけこそ、大きな幸せへの道に通じ、人生を築いていくプロセスとなります。単なるささやかな手芸の中からでも美しいクリエイティブなものを表現しようとして一心に創っている姿勢そのものが美しいのです。そこに、美的創造力の自己発見の限りない楽しさがあり、創造力を身につけるためにも、自ずと美的直観力や審美眼が養われていくのです。

一生のうちでできるだけ自分の内面に潜んでいる知性と感性と創造力を発見し、訓練し、持続して自己実現を貫く生涯こそ、バイタリティーに富んだ物心両面の創造の世界を演出できるのではないのでしょうか。学歴社会だけの世の中では、必ずしも良き文化や創造力が生まれません。自分自身のしつかりした価値判断と豊かな発想を身につけるように心がけるべきであると考えます。

人はこれまでに科学・文化など、各分野でいろいろな創造を生んできましたが、しかし、人にとって最も大きな創造は、なんとと言っても「自分を創る」ことです。いきいきと、常にフレッシュに生きることこそ、最大のテーマではないでしょうか。

代役のきかない人生で、人は皆、自分を創造する唯一無二のクリエイターであり、バックミラーを見ながらの生き方や、作られる人間でなく最高に賢いなオータメイドの「創る人間」へと努力したいものです。

ひと
アズ
とやま



めざせアトランタ!

第8回日本身体障害者水泳大会優勝 加門智樹くん

「泳ぐ前の緊張感がたまたまなく好きです。九月七日、八日に福岡市で開かれた第八回日本身体障害者水泳選手権大会において、高岡高校一年の加門智樹君が、五十メートル自由形と百メートル自由形の二種目に、それぞれ大会新記録を樹立し、見事優勝しました。

加門君は小学校一年の夏から地元のスイミングスクールに通う、いわゆる水泳少年であり、高陵中学一年の時には全国ジュニアオリンピックに出場するなど、県内水泳界期待の若手ホープとして活躍していました。しかし、中学二年の時に骨髄炎で左足大腿骨を切除し、五月から翌年の一月まで入院。

「大変ショックでしたが、クラスメイトが入院中欠かさず授業のノートをとって持ってきてくれたのがとてもうれしくて、大きな心の支えとなりました。退院後、一時期競泳を断念していましたが、中学三年の夏の大会で友達が頑張っているのを見て、「もう一度やろう」と決意をしたとのこと。

「加門君は明るくてねばり強い頑張り屋さんとの担任の向田先生の言葉のとおり、昨年の県大会でいきなり全国新を出して優勝、今回の全国大会でも素晴らしい成績をおさめました。

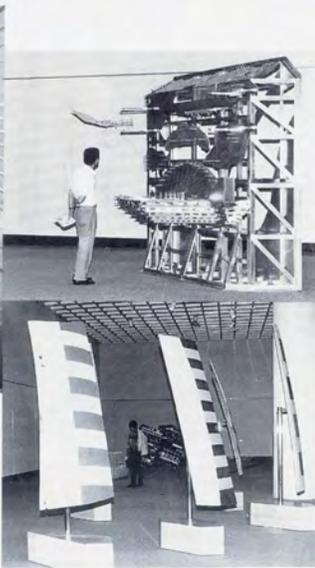
「来年のバルセロナでのパラリンピック（国際身体障害者スポーツ大会）には年齢制限があつて出場できませんが、96のアトランタ大会には出場して、ぜひ優勝したいですね。」と目を輝かせて話す加門君。笑顔がとってもさわやかです。パラリンピック参加資格の標準記録は現在既にクリアしているとのこと、アトランタでどんな泳ぎを見せてくれるのか本当に楽しみです。





立体造形美の世界を創出

(現代日本美術の動勢——立体造形)展●開催



「現代日本美術の動勢——立体造形」展が九月十四日から十月二十七日までの間、県立近代美術館で開催されました。

同展は一九八〇年代中期以降の立体造形の分野に焦点を絞り、日本の立体造形分野を代表し、国際的にも高い評価を受けている二十三人の近、新作二十八点が展示されました。

白御影石の塊を分割し、芯を除去して緑に着色、再び組み上げた岡本敦生さんの「忘却・永遠の緑」、ハメートルの木彫で空間の響きを感じさせる米林雄一さんの「微界音」など、バラエティーに富んだ意欲的な大作が、独創的な世界を創出し、訪れた人たちは、この立体造形が繰り広げるさまざまな表現に酔いしれていました。

また、十月十九日には、出品作家の村岡三郎さんと神奈川県立近代美術館館長の酒井忠康さんが「現代の立体造形」というテーマで公開対談を行いました。

平成3年度 障害者雇用促進大会

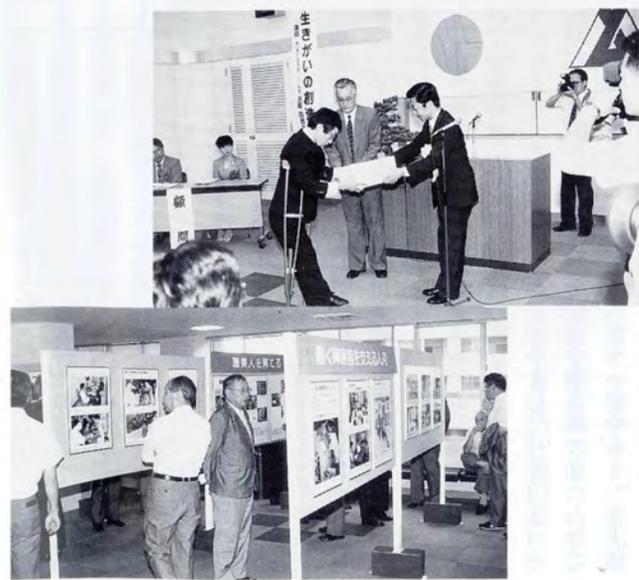
障害者雇用優良事務所
優良勤労障害者表彰
雇用促進セミナー

富山県 公共職業安定所 社団法人富山県障害者雇用促進協会



障害者の活躍の場を広げよう

障害者雇用促進大会



「障害者の友へ 愛の手 雇用の手」をテーマに、県障害者雇用促進大会が、九月十一日富山市の市町村会館で「勤労障害者、事業主ら約百二十人が出席して開かれ、企業の意識改善と雇用促進を訴えました。」

大会ではまず、金子県商工労働部長と戸田清一県障害者雇用促進協会会長が「障害者の雇用を図ることは社会的責務だとの認識を深め、雇用機会の確保に協力してほしい」とあいさつ。続いて、障害者雇用優良事業所十社と優良勤労障害者八名が表彰されました。

その後、障害者雇用セミナーが行われ、県生涯学習カレッジの吉崎学長が「生きがいの創造」について講演しました。また、会場ではパネル展が開かれ参加者は、パネルに写し出された勤労障害者の仕事ぶりに入っていました。



綱引きで深めよう環日本海交流

全国勤労者綱引大会・環日本海諸国綱引交流会



勤労者同士の交流と心身のリフレッシュを目的に、「第三回全国勤労者綱引大会」が九月二十九日、富山市秋ヶ島の県総合体育センターで開催されました。二十三都道府県から三十九チーム約五百人の選手が参加、熱戦を繰り広げました。

また、日本、中国、韓国、ソ連の四カ国による全国初の「環日本海諸国勤労者綱引交流会」が同時に開催され、各国の選手たちが「友好の海チーム」など四つの混成チームに分かれて、お互いに友好を深めました。

富山県からの出場チームは、男子の魚津サッシ綱引クラブ、女子の大沢野メイトがそれぞれ準優勝しました。全力を出しきった精一杯のプレーに、会場からはさかなな拍手がおくられていました。



Design Wave '91 in Toyama



デザインの新しい波を富山から

デザインウェーブ'91イン富山●開催



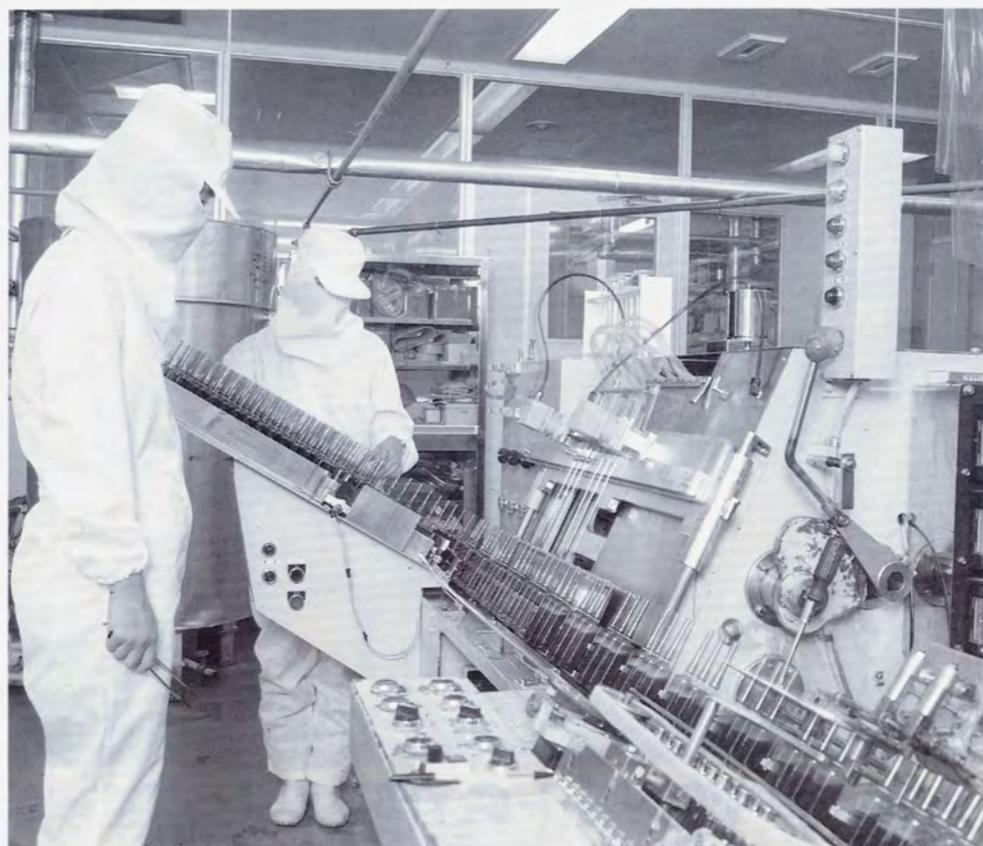
▲面出薫氏



▲ワークショップ

九月二十八日から十月五日まで、高岡市で「デザインウェーブ'91イン富山」が開催され、期間中にはシンポジウムやデザイン祭りなど、多彩なイベントが開催されました。二十九日に高岡地域地場産業センターで行われた「デザインシンポジウム」では、まず基調講演として、ソニー企業社長の黒木靖夫氏が「地方文化とデザイン」、ライディングプランナーズアソシエーツ代表の面出薫氏が「世紀末の都市照明」と題して講演。また午後からは富山インダストリアルデザインセンター所長の平野拓夫氏をコーディネーターとして、「デザイン発信基地をめざして」をメインテーマに、四人のパネラーによる積極的なディスカッションが行われ、会場の約二百五十人のデザイン関係者たちは、熱心に耳を傾けていました。

この期間中には、国内外の若手デザイナーたちが合宿をしながら、一定のテーマに基づいたデザインを創作するという「ワークショップ」も行われ、成果発表会では、伏木港周辺の未利用地を利用した海浜公園の建設など、新しい「街づくりデザイン」を意識した斬新なアイデアが提案されました。



頭脳基地富山の創造をめざして 「科学技術プラン」の策定

科学技術は、日常生活のすみずみから多様な産業活動まで、幅広く利用や活用がなされ、社会経済発展の大きな原動力となっています。また、今日、経済大国となった我国には、科学技術面での国際社会への貢献と指導的な役割が期待されています。

一方、地域では、活性化の方策としての科学技術振興に大きな期待が寄せられています。

富山県では、これまで「日本一の科学県」づくりを目指して、県科学技術会議の設置や県立大学の開学、県立試験研究機関の充実整備、富山テクノポリス建設・頭脳立地計画の推進など多様な施策を進めてきました。

この程、策定した「富山県科学技術プラン」は、新県民総合計画に基づき、「しあわせ富山」の実現のため、西暦二千年度までの科学技術振興の目指すべき方向と、その実現のための総合的方策を明らかにしたものです。

プランの理念

新しい世紀の豊かな地域社会と県民生活の実現に向けて、創造性豊かな科学技術を振興する必要があります。

この場合、科学技術の進展が広範な領域に影響を与えると認識し、人間及び社会のための科学技術という原点に立ち、人間そのものに対する理解を深めながら、調和ある科学技術の発展を図ることが大切であると考えます。

プランの目標

日本一の科学技術県を目指して、すべての県民が科学技術に親しみ、理解し、活用し、創造することに積極果敢に挑戦するなかで、「フロントティアに挑む人づくり」「研究開発を推進する基盤づくり」「新しい科学技術を創造するシステムづくり」を進め、「頭脳基地富山を創造する」ことを目標とします。



頭脳基地富山への重要視点

計画全体に共通する重要視点として

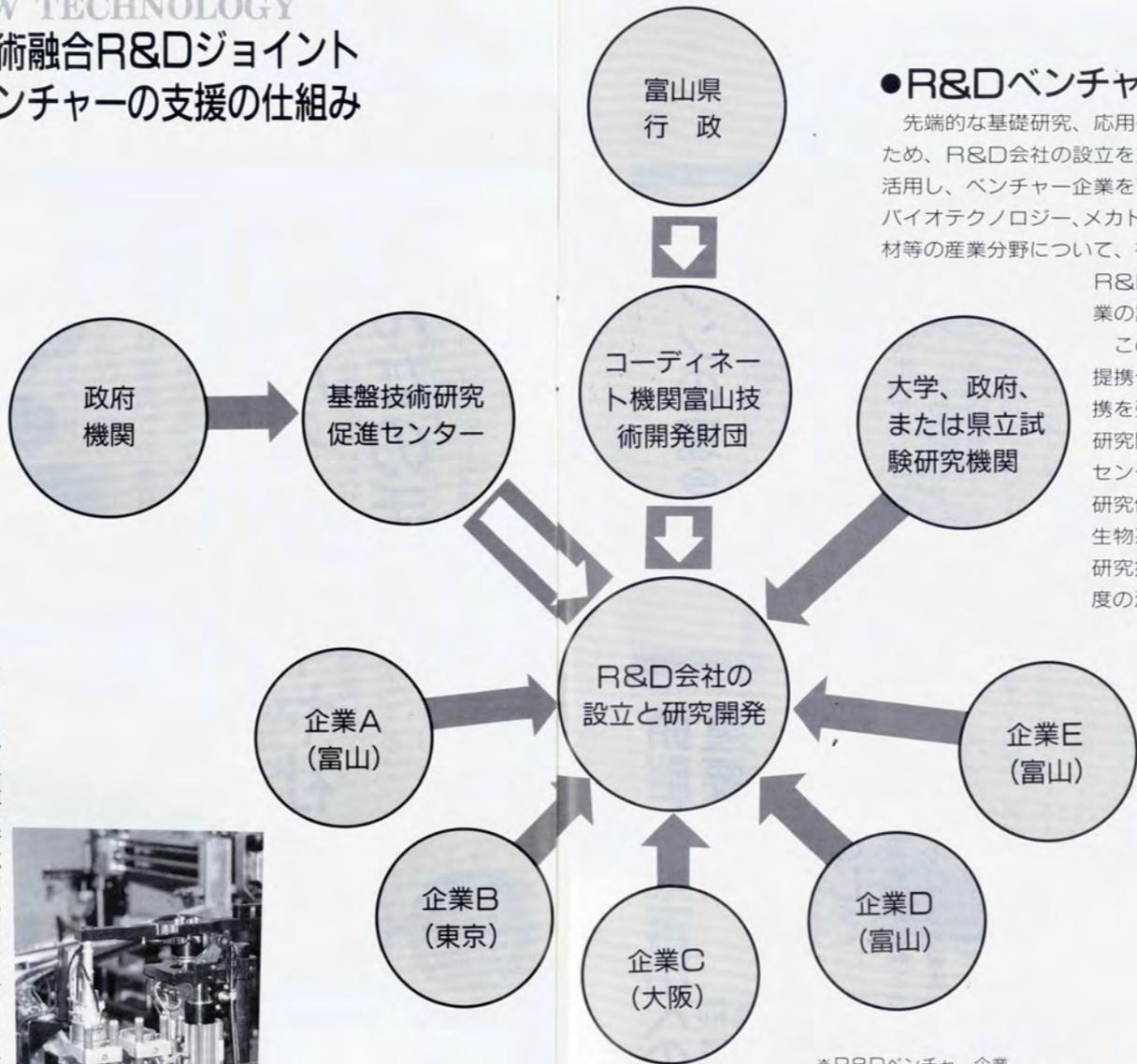
- ① 科学技術に対する県民の理解と協力を得るとともに、住み良さの改善や健康づくりなど暮らしの豊かさを實現する科学技術の研究を進めるほか、県民生活の基盤である地域産業の発展を支える人材の育成を図り、更に産業の高度化を支援するなど、「豊かな生活の實現に貢献する科学技術」を振興します。
- ② 豊かな自然環境を生かした科学教育を進めるとともに、稲作、球根栽培、医薬品製造、金属加工などの地域の技術基盤や要請に応じた「富山ならではの科学技術」を振興します。
- ③ 若手研究者の海外派遣研修などを進めるとともに、本県の優れた科学技術の国際的な普及を図ります。また、国際的な交流の機会や場の創出を支援し、特に環日本海交流を進める中で、沿岸諸国の研究者等の受け入れを進め、独自の分野における国際的な研究開発の拠点形成を目指すなど、「国際社会に貢献する科学技術」を振興します。



◀富山県工業技術センター繊維研究所で開発された光ファイバーを使ったデコレーションあんどん。



NEW TECHNOLOGY 技術融合R&Dジョイント ベンチャーの支援の仕組み



●R&Dベンチャー企業の設立の促進

先端的な基礎研究、応用研究を促進するため、R&D会社の設立を支援する制度を活用し、ベンチャー企業を育成する。特に、バイオテクノロジー、メカトロニクス、新素材等の産業分野について、複数企業によるR&Dベンチャー企業の設立を促進する。このため、企業間提携や産・学・官連携を強力に進め、(財)研究開発型企業育成センター、基盤技術研究促進センター、生物系特定産業技術研究推進機構等の制度の活用を図る。

(1)次世代を担う人づくり
県民の科学技術に対する関心や理解を深めるため、博物館や講演会、視覚情報の提供など多様な場や機会を創出します。

1 フロンティアに挑む人づくり

具体的な施策

また、青少年の創造性や個性を引き出し、科学する心を育成するため、モデル科学教育や自然環境を生かした体験学習の展開などを進めるとともに、県立大学など専門的教育機関の整備を進めます。

(2)研究者・技術者の育成・誘致

研究者等の資格の向上のため、大学の公開講座や海外派遣研修、国際学会の開催などを進めるとともに、技能者の職業能力開発体制の強化を図ります。更に、国内外の優れた研究者等の誘致を図るため、人材バンク機能の充実や受け入れ体制の整備を進めます。

2 研究開発を推進する基盤づくり

(1) 研究機関等の整備・誘致

県立試験研究機関の整備充実を進めるとともに、県民生活を支援する科学技術の開発研究を進めます。また、国際伝統医学センター、チューリップ遺伝資源センターなど地域資源や要請に対応した研究機関の設置を進めます。更に、国等の研究機関の誘致を行います。

(2) 研究開発の拠点づくり

イノベーションパーク等の整備により、研究機関の集積拠点の形成を促進するとともに、国際会議などの可能な交流施設を整備します。



3 新しい科学技術を創造するシステムづくり

(1) 研究開発の推進

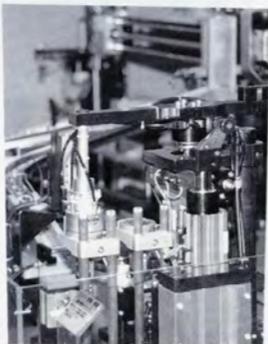
創造的な研究開発が本県で展開されるよう、国の大規模研究プロジェクトへの参加を進める

(2) 研究交流の促進

先端科学技術の情報や人材の交流が本県で活発になるよう、国際学会を誘致するとともに、情報収集機能を充実します。

また、海外の研究者等との交流促進のため、留学生基金の設置や技術協力推進事業を拡充します。

とともに、各種の研究助成制度の活用を促進します。更に、地域に密着したテーマによる創造的研究開発を進めるため、県独自の流動的な産・学・官共同研究プロジェクトを積極的に推進します。



(3) 新技術導入の支援

先端技術を活用し、優れた技術競争力を持つ産業を育成するため、起業家等に対する資金援助、技術指導などを行うとともに、科学技術に関する地域情報システムの整備を図ります。

計画の推進体制

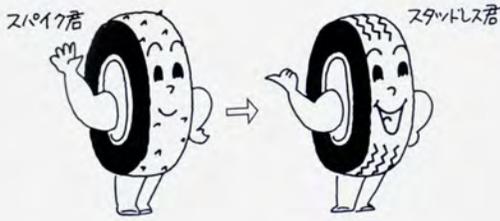
このプランの推進にあたっては、県科学技術会議の充実や科学技術白書の刊行などを通じて、県、市町村、企業、国等、それぞれの積極的な取り組みと協力を得るとともに、横断的かつ計画的な推進体制づくりを進めます。

(科学技術プランについてのお問い合わせは、県庁企画県民部企画調整室政策班 ☎0764・44・3109まで)



さよなら、スパイクタイヤ。

12月は全国一斉の脱スパイクタイヤ運動推進月間です。



脱スパイクタイヤ社会を みんなの手で

仕事にレジャーに私達の日常生活に自動車
が深いかわりをもつようになってきている
今日、スパイクタイヤ公害問題を解決するた
めには、全国的にスパイクタイヤを使わない
車社会をつくる必要があります。
そして、私達自身が被害者であると同時に
加害者でもあるという典型的な生活型公害で
あるスパイクタイヤ公害は、私達自身の実践
なしには解決できません。

そのためには、私達一人ひとりが、車依存
の暮らし方や車社会のあり方を含めて、もう
一度冬のライフスタイルを見直してみること
が求められています。

次の世代にきれいな環境を伝えるためにも、
脱スパイクタイヤ社会の実現を推進しなけれ
ばなりません。

粉じんのない青い空、白い雪、そんな富山
県をみんなの手で築きましょう。

**指定地域内の舗装道
路では、積雪又は凍結
の状態にならない場合には
スパイクタイヤを使用
することはできません**

スパイクタイヤの使用
が規制される指定地域



住居が集合し、交通量が多い地域であって、
スパイクタイヤ粉じんの発生を防止する必要
がある地域として、本県では27市町村が指定
地域として指定されました。



冬道の主役は「スタッドレスタイヤ」とあなたの「安全運転」です。

合言葉は
スタッドレス



「スパイクタイヤ粉じんの 発生防止に関する法 律」の概要

●法律の目的
スパイクタイヤの使用を規制するなどして
粉じんの発生をなくし、国民の健康と生活環
境を守ることが法律の目的です。
(法第1条)

●国民の責務
スパイクタイヤを使わない、売らないこと
を實踐し、脱スパイクタイヤ社会の実現に向
けて努力することがすべての国民の責務です。
(法第3条)

●行政の施策
国民の取り組みを援助するために、国や地
方公共団体も様々な施策の実施に努めること
になっています。
(法第4条)

●地域指定
環境庁長官は、住民の健康を保護し生活環
境を保全することが特に必要な地域を指定地
域として指定します。
(法第5条)

●スパイクタイヤ使用禁止と罰則
指定地域では、積雪、凍結の状態にない路
面（トンネル内の道路その他の政令で定める
道路の部分を除く）をスパイクタイヤで走行
すると10万円以下の罰金が科されます。
(法第7条、第8条)

※法律では、あくまでスパイクタイヤの使用
禁止が原則です。ですから、罰則適用のない
非指定地域でも、あるいは積雪凍結でもス
パイクタイヤを使わないことを求めています。
※スパイクタイヤ使用禁止は平成3年4月1
日から、また、罰則は平成4年4月1日から
施行されます。
(附則第1条)

※大型車については、当面、法律の公布から
3年を超えない範囲で法第7条・第8条の適
用を猶予することになっています。
(附則第3条)

こし水び

やわらかな光と 収穫の後の田を焼く
煙が織り成す 光と煙のファンタジー
深まりゆく秋の午後のひととき

PTN UP TONAYAMA

創造性豊かな文化の振興

レポーター：千代 裕子(ミス名水)

物質的に豊かになった現代社会において、心の豊かさや生活にうるおいをもたらす文化活動への期待は、着実に高まっています。文化課では、このような期待に応え、地域に根ざした多様な文化を創造発展させるため、文化施設の整備を進めるとともに、質の高い芸術文化にふれあう機会の拡充に努めています。

「文化」というと、昔ながらの伝統や格式張った風習などというような堅いイメージを持っていましたので、今回の文化課訪問はとても緊張していました。でも、みなさんとても温かく迎えて下さり、そしてとても気さくな方ばかりなのでリラックスしてお話を伺うことが出来ました。また宮川課長のお話を聞いてみると私の思っていた堅苦しい「文化」とは、どうも違っているようでした。

近年の県民の所得水準の向上や、余暇時間の増加等で、県民の文化の志向はだんだん高まっています。文化課の基本的な仕事は、私たちの貴重な財産である文化財の保護を図るとともに、新たな文化を創造し、県民の文化に対するニーズに応えるということです。今年四月からスタートした「新富山県民総合計画」では、芸術文化活動の振興を主要な柱に位置付け、国内はもとより、国際的にも多様な交流を展開することを掲げています。そして、大きな目標である「日本一の文化県」づくりのため、一歩一歩努力しているのです。

具体的な事業としては、県内芸術文化団体の活動や、全国的にもレベルの高い吹奏楽等の若い世代の文化活動の展開を支援しています。また、県民の芸術鑑賞機会の充実や文化施設の活性化をはかるため、「県展」、「県芸術祭」、「県民芸術劇場」、「県民合同オーケストラ演奏会」などを開催しています。特に平成八年に開催が決まった第十一回国

民文化祭では、富山県らしきを出して、今までにないユニークな内容で、多くの国民が参加し、そして満足していただけるように今から着々と準備が進められています。

富山県のユニークな国際文化交流としては、来年度の第四回目となる、「富山国際アマチュア演劇祭」があげられます。これには二十数カ国、約三百名の人が参加し、各国の演技を披露してくれるそうです。

また利賀村では、利賀フェスティバルが昭和五十七年から毎年開催されていることは、多くの方が御存知だと思います。そしてこれらの活動により、富山県が世界演劇のメッカと言われるようになったのはとてもうれしいことです。



富山県民芸術劇場

美の出会いの場

そして最後に訪問したのは富山県立近代美術館です。こちらは今年七月に開館十周年を迎えました。以前から美術にはとても興味があったのですが見学は初めてだったのでとても楽しみにしていた所です。行ってみて最初の感想はこんなにも広くて美しい美術館が県内にあったのかという驚きと感激でした。二階の常設展示室ではピカソや、シャガールなどの美術の教科書で馴染み深い画家の初期の作品などが飾られてあり、とても身近に感じられました。また私の好きな現代アートのアンディーウォーホルの作品もあり、どれも



見応え十分な作品ばかりでした。一階では、様々な企画展を開催しており、私が訪問したときは、最新の彫刻作品が展示されていました。

文化的遺産の継承と活用

次に訪れたのは埋蔵文化センターです。センターの主な仕事は、埋蔵文化財の調査・研究と保存・活用です。はじめに、保存室を案内していただきました。一口に保存といっても、それは想像を絶する数でした。昭和六十二年に新しく保存室などを増築したそうですが、その新館の方も発掘品でいっぱいでした。それだけこの富山県からたくさん出土器や石器などが発掘されているということです。展示室には、縄文時代からの人々の生活に係わった土器などが所狭しと並べられてあり、昔の人々の生活が目に浮かんでくるようです。本当にセンターの方々の細やかな神経とお仕事ぶりには感心してしまいました。



パブロ・ピカソ「肘かけ椅子の女」



2階常設展示室

このように今回の訪問で今まで知らなかった活動やいろんな努力を知ることが出来ました。私たち県民が心を豊かにする芸術文化を楽しむことが出来るのもこうしたみなさんのおかげです。私もこれを機会に文化に対する関心と理解を一層深め、日本一の文化県の実現のために協力していきたいと思っています。



▲宮川課長



▼工器の説明をうける



とる記
ふるさ
みるてある

大門町

陶芸の火を絶やさないうように

大門町「匠の里」施設長 山内英夫さん

平成二年八月、誰でも手軽に陶芸を楽しむことのできる施設として、大門町「匠の里」がオープンした。宿泊棟や研修施設もあり、オープン以来、利用者は五千人以上にものぼる。

「古くは奈良時代から、このあたりでは『三戸田焼』という独特の手法を受け継いだ瓦産業が盛んであったんですよ。」と施設長の山内さん。伝統の技術を伝えようと設置された「粘土芸センター」には大型の窯が備えられている。「簡単なろくろ実習をしてみようものから、夜間陶芸教室まで、いろんな講座があります。今は団体の申し込みがほとんどだけど、事前に申し込んでもらえば、個人の方も受け付けます。」とのことで、匠の里では一度に数十人もの人がろくろ実習を体験できるようになっている。



▲誰でも手軽にコーヒーカップなどをつくれます。

土を捏ね、ろくろを回して、自分のフィリングで器をつくる。通常ではなかなか体験できないことだと思ふ。一度「匠の里」に足を運んでみてはどうだろうか。

稚魚たちに 思いを託して

庄川養魚場 松本吉則さん

「十一月下旬から十二月上旬の最盛期になると、やなが真つ黒になるくらいにさけが上ってくるんですよ。」と話す松本さんはこの養魚場に勤めてもう十三年になる。



匠の里 全景▲

▲外国の方にも熱心に指導する山内英夫さん(右)



庄川養魚場▶ 松本さん

しまいます。ここの養魚場はこんな下流にあるから、水温が高くて、とにかく苦労しています。卵からかえってからも、五十以上ある大きな水槽を毎日掃除して水を入れかえてやらないと、稚魚が病気になるんですよ。十月から翌年四月までほとんど休みはないとか。大変な仕事やけど、趣味と実益をかねるとるようなもんやからね。」と笑う松本さん。庄川には、今年も生まれ育った水を求めて遡上するたぐさんのさけの銀鱗が光る。

凧で

まちおこしを

大門町・枇杷首自治会長 番留巖さん

今年で十三回目を数えた「越中だいまん凧まつり」。もとはと言えば、枇杷首の自治会で行っていた親子の凧づくり講習会が、町全体の行事になったものである。この凧まつりの発祥ともいえる枇杷首自治会の会長である番留さんに話を聞いた。

「今から二十年前ほど前に、当時の自治会長が、『何か自然を生かしたもので、親子で楽しめるものはないだろうか。』と考えられて、凧づくりが始まったんですよ。凧だと材料費は割と安くすむし、作った凧が上がれば子供も喜び、上

がらなければ、「どうして?」と研究するようになる。工作だから子供も熱中するし、子供の情操教育にはまさに格好の材料だった訳だ。子供がナイフをうまく使えないときにお父さんが手際よく使ってみせたりすると、子供はお父さんを尊敬のまなざしで見てるんですよ。その時のお父さんの得意そうな笑顔がまた面白くてね。」枇杷首は凧まつり発祥の自治会として、毎年変わった凧上げに挑戦している。今年も来夏のジャパンエキスポをPRする百五十枚もの連凧をあげた。「これからは、凧まつり発祥の地」として、どんどん面白い凧あげに挑戦していきますよ。」と、番留さんの夢は上昇気流のつてグングン舞い上がる。



▶ 枇杷首自治会長 番留 巖さん



大門町の概要
人口 12,183人
(9月1日現在、県人口統計調査より)
面積 21.77km²

5月上旬に行われる『越中だいまん凧まつり』には、県内外から集まった数千もの凧が、爽やかな春の青空を彩る。また昨年、陶房「匠の里」もオープンし、手軽に陶芸が楽しめる施設として人気を呼んでいる。



十二月は納税強調月間です。

県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所までご連絡ください。

● 県税の所管区域図 (平成3年4月1日現在)



県税の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡ください。

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11 ☎(0764)41-2551
自動車税センター	富山市新庄町馬場39-6 ☎(0764)24-9211
高岡県税事務所	高岡市赤祖父211 ☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7 ☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

★ 国の税金は税務署へ
市町村の税金は市役所または町村役場へ

県税について お困りのときには ご相談を

財産が災害や盗難にあった、本人や家族が病気やケガをした、事業に著しい損失を受けた...など、決められた期限までに県税を納めることができないときには、所轄の県税事務所にご相談ください。事情により納税が猶予される場合があります。

そのほか、県税についてお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

「しあわせ富山
を創る県税」

第38回文化財保護強調週間 (11月1日~7日)

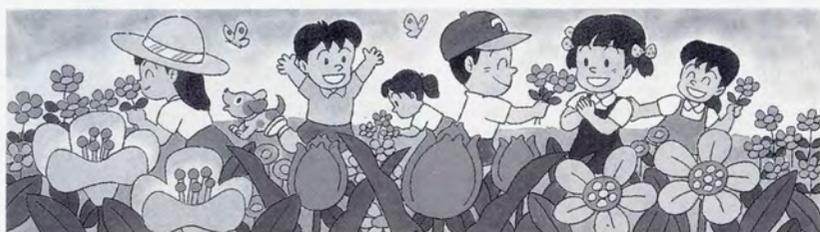


「立山博物館」

11月1日~7日は、「文化財保護強調週間」です。これは、壁画が焼失した法隆寺金堂の修理竣工を記念して昭和29年から始まったものです。
文化財は、我が国の歴史、伝統、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、学術上、歴史上価値の高い貴重な財産です。これを契機に身近な文化財を見直して、文化財の愛護に努めましょう。
期間中は、次のような展示が実施されます。
・富山県(立山博物館) (11月1日(金)開館)
「立山曼荼羅そのころとカタチ」
12月8日まで
・富山県埋蔵文化財センター
「貝塚―縄文ムラの風景―」
11月30日まで

児童手当の改正 1人目の子供から支給されます

児童手当法が一部改正され、平成3年1月2日以降に生まれた第一子についても、平成4年1月から新たに手当の支給対象となります。この認定請求の受付を、平成3年11月1日から住所地の市町村児童手当担当窓口で行いますので、早めに手続を済ませて下さい。
また、第二子以降の児童についても、手当月額が第二子は五千元、第三子以降は一人につき一万円に増額されるとともに、受給期間は満3歳になるまでに短縮されます。ただし、既給中の方については、経過措置として段階的に短縮されます。
なお、受給資格は、申請者の収入等により制限があります。詳しくは住所地の市町村児童手当担当課までお問い合わせ下さい。



花時計で使用した 花の配布



県では仕事等により恒常的に帰りが遅くなって、子供に対する生活指導や家事でお困りの父子家庭や母子家庭のためにトワイライトステイ事業を始めました。この事業は児童を午後10時頃まで県の指定する施設でお預りするものです。現在、富山市・高岡市で各一カ所ずつ施設を指定しています。
申請窓口及び問い合わせ先は住所地の市町村父子・母子福祉主管課です。

トワイライトステイ事業開始



多くの県民に親しまれている県庁前公園の花時計は、年に5回、植替えを行っています。使用した花については、植替え作業の係員に申し出ていただければ、差し上げますので、お気軽に声をお掛けください。

なお、植替作業の日は、天候等の都合で直前に変更することもありますので、事前に左記までお問い合わせください。
また、ビニール袋など、花を入れる袋もご持参願います。

予定期日 11月14日(木)
午前9時~午後4時
場所 県庁前公園
問合せ 助花と緑の銀行

☎0764・66・2425

富山県立近代美術館企画展 『91富山の美術』



富山県出身・在住またはゆかりの深い美術作家のうち、現在最も注目される意欲的な制作を行っている作家31名を選抜して、「91富山の美術」を開催します。初出品の5名の作家をはじめ、県内外で広く活躍している作家たちの作品約70点を展示します。

会期 11月2日(土)～12月15日(日)

観覧料 一般670(560)円 高大生450(330)円
小中学生280(160)円(20人以上の団体料金)

問合せ 富山県立近代美術館 ☎0764・21・7111

「花と緑」の 写真コンテスト 作品募集



賞	
最優秀賞 賞状及び賞金5万円	1点
優秀賞 賞状及び賞金2万円	3点
優良賞 賞状及び賞金5千円	5以内
特別賞 賞状及び記念品	数点
佳作 賞状及び記念品	若干

富山県内に咲く花(自生、植栽)、自然の緑、緑化木(街路樹、町並み、庭木)や花と緑とのふれあい風景など花や緑について表現できる作品を応募下さい。

規格 単写真の場合 キャビネサイズ以上
組写真の場合 各キャビネサイズ以上。

応募点数 未発表のもので、一人3点以内

応募締切 平成3年11月20日(水) 当日消印有効。

応募先 〒939-27 婦負郡婦中町上 豊田42
「花と緑の銀行」係
☎0764・66・2425
花と緑の銀行支店(各市町村花と緑の担当課)

●富山県カメラ商組合加盟店

アルバン・ベルク弦楽四重奏団



アルバン・ベルク
四重奏団
NEW CD



現代の四重奏団の最高峰に位置するといわれるアルバン・ベルク四重奏団。その優雅で、甘美な世界をお楽しみください。

日時 平成3年11月11日(月)
午後6時30分

場所 富山県教育文化会館ホール

入場料 S席七、五〇〇円
(当日八、〇〇〇円)
A席五、〇〇〇円
(当日五、五〇〇円)

問合せ 富山県教育文化会館
☎0764・41・8635

富山県高岡文化ホール 音楽友の会第25回コンサート 『オランダ弦楽四重奏団』



オランダ弦楽四重奏団は、1976年にアムステルダムで結成されました。今回は、我が国の誇る世界的ピアニスト花房晴美さんを加えて、弦楽五重奏曲も演奏されます。

日時 平成3年11月27日(水) 19時開演

場所 富山県高岡文化ホール大ホール

問合せ 富山県高岡文化ホール
☎0766・25・4141

遊具デザイン コンクール作品募集

1 趣旨
富山県では、「富山県子どもみらい館」の開館と、「第1回ジャパンエキスポ富山'92」(略称「エキスポとやま博」)の開催を機に「夢のある遊具」と「夢のあるおもしろベンチ」のデザインを全国に向けて募集しています。

2 募集部門
(1) 夢のある遊具デザイン部門
「子ども達が全身を使って遊べる遊具」であって、こどもみらい館内でこども達が実際に長時間にわたって安全に遊ぶことができるもの。

(2) 夢のあるおもしろベンチデザイン部門
「動物又は植物をモチーフとした楽しいベンチ」
入賞作品は実際に製作して「エキスポとやま博」会場内に設置します。

3 募集コース
両部門には、それぞれ次の2コースがあります。

(1) デザインコース(応募年齢制限なし)

(2) 図画コース(中学生までの者)
※学校、クラブ等のグループによる応募も問いません。

夢のある デザイン募集



▲富山県子どもみらい館

夢のあるおもしろベンチ		夢のある遊具		部門
図画	デザイン	図画	デザイン	コース
大賞 賞状及び図書券5万円分1点 優秀賞 賞状及び図書券3万円分2点 佳作 賞状及び図書券1万円分5点	大賞 賞状及び図書券5万円分1点 優秀賞 賞状及び図書券10万円分2点 佳作 賞状及び図書券1万円分10点	大賞 賞状及び図書券5万円分1点 優秀賞 賞状及び図書券10万円分2点 佳作 賞状及び図書券1万円分5点	大賞 賞状及び図書券5万円分1点 優秀賞 賞状及び図書券10万円分2点 佳作 賞状及び図書券1万円分5点	賞

6 発表・表彰
(1) 発表 平成4年1月予定
(2) 表彰 平成4年3月予定

7 問合せ・送付先
〒930 富山市新総曲輪1-7
富山県厚生児童家庭課内
「夢のあるデザイン募集」係
☎0764・44・3209

県政の動き

平成3年9月11日～10月10日

- 9月11日 大長谷第五発電所竣工式
障害者雇用促進大会
- 9月13日 本会議(提案理由説明)



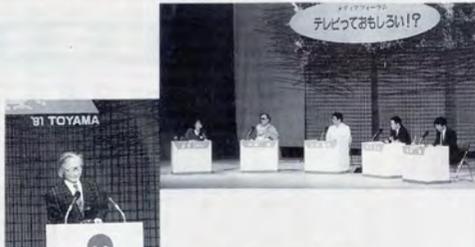
- 9月14日 JET'92PR用残日計点灯式
〔現代日本美術の動勢-立体造形〕展
(～10月27日)
- 9月17日 富山県いきいき物産株式会社(仮称)発起人会
県営新桜町駐車場起工式
- 9月20日 第11回富山県精神薄弱者連合運動会
- 9月21日 ふれあい警察展



- 9月25日 「交通マナーアップ富山」街頭キャンペーン
'91とやまチビッコとんかち大将コンクール作品展示(～10月6日)



- 9月28日 デザインウェブ'91イン富山(～10月5日)
- 9月29日 第3回全国勤労者綱引大会
- 10月1日 富山県青年の翼・婦人の翼海外派遣団結団行式
- 10月2日 富山県スポーツ奨励賞授賞式
第7回富山県育樹祭
富山県農業新規担い手確保対策検討委員会
- 10月3日 第27回テレビと生涯学習研究協議会全国大会



- 10月4日 第3回地域リハビリテーションフォーラム
とやまテクノフェア'91開会式(～7日)
- 10月6日 第26回富山県身体障害者大会(水泳競技)
パラグライダー日本選手権開会式
- 10月8日 第1回富山県生涯学習審議会

平成3年度 第2回 理容師美容師実地試験

試験の実施
日 時 平成3年12月2日(月)
(理容1時30分、美容9時30分)
場 所 富山県理容美容高等専修学校
(富山市下新町8番35号)
受験料 九、〇〇〇円
受験願書の配布 11月11日(月)まで
日 時 午前9時～午後4時
(土、日、祝日は除く)
場 所 富山県理容美容高等専修学校
富山県理容美容衛生同業組合
富山県美容環境衛生同業組合
理容師美容師試験センター富山県支部

3型に送付先を記入の上15円分の切手を貼付して理容師美容師試験センター富山県支部にお申し込み下さい。
受験願書の受付
日 時 平成3年11月11日(月)～11月18日(月)
午前10時～12時、午後1時～4時(土、日、祝日は除く)
場 所 富山県民会館(604号室)
(富山市新総曲輪4番18号)
富山県庁環境衛生課
(富山市新総曲輪1-7)
理容師美容師センター
(富山市総曲輪1-7)
☎0764・31・4111 内線3563
☎0764・33・9046

平成3年 12月街頭献血日程

日 曜	場 所	時 間
1 日	滑川市「エール」ショッピングセンター前	10:00～15:30
7 土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
8 日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
9 月	上市町役場前	10:00～12:00
	上市町「バル」ショッピングセンター前	13:00～15:30
11 水	朝日町職工会館前	10:00～15:30
14 土	富山西武デパート前	10:00～16:00
15 日	富山西武デパート前	10:00～16:00
16 月	立山町役場前	10:00～15:30
23 月	大島町「アプリオ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
29 日	富山西武デパート前	10:00～16:00
30 月	富山西武デパート前	10:00～16:00

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除)、献血を受け付けています。

富山県視聴覚自作教材コンクール

学校教育や社会教育の場で活用できる、視聴覚自作教材を次のとおり募集します。

・教材の種類
映画・ビデオ・スライド・OHP・紙芝居ほか

・内容
富山県の教育、文化、自然を内容とし、学校教育や社会教育の場で活用できるもの

・時間
一作品5分～20分

・応募資格
アマチュアの個人及びグループ

・応募方法
県民カレッジ、市町村教育委員会・視聴覚ライブラリー等にある応募用紙に必要事項を記入し、作品と一緒に県民カレッジへ

・応募期間
平成3年12月2日～12月26日

・問合せ
県民カレッジ視聴覚ライブラリー
☎0764・32・6420

社会通信セミナー'91開催

社会通信教育の普及・振興を図るため、次のとおりセミナーを開きます。通信教育を受けておられない方も自由に受講できます。

・日時 11月17日(日) 9時～16時

・会場 富山県教育文化会館

・内容(午前)講演会
講師 県民カレッジ客員教授 青柳正美先生
通信教育受講者体験発表
(午後)著名講師による個人指導

・造園園芸講座、書道講座、編物手芸講座、ファッションデザイン画講座、実用英語講座

・受講料 無料
・申し込み、問合せ
県民カレッジ
☎0764・41・8635



富山県総合雪対策調査研究 発表会の開催

昭和56年度から進めてきた総合雪対策調査研究の成果を広く県民に紹介するため次により発表会を開催します。

発表会
開催日時 平成3年11月26日(火)
午前10時～午後5時
平成3年11月27日(水)
午前9時～午後4時

開催場所
富山県民会館地下展示場

記念講演会
開催日時 平成3年11月26日(火)
午前10時～12時

開催場所
富山県民会館401号室

講師
舟田 久之氏
(日本気象協会北陸センター調査役)

森 永由紀氏
(筑波大学地球科学系技官・日本の女性南極観測隊員)

ねたきり防止 国際セミナーの開催

ねたきり防止対策の推進を図るため、国内外の専門家を招いて、ねたきり防止国際セミナーを開催します。

日時 平成3年11月27日(水)
午前10時～午後4時30分

場所 富山県民会館特別会議室

定員 250名

参加費無料
(入場整理券が必要です)

問合せ 県庁高齢福祉課
☎0764・31・4111 (内線3435)



表2 エッセイ/臼井千穂子
P1 ひと/加門智樹
P2 クローズアップ
P6 ①障害者雇用促進大会
P10 ②現代日本美術の動勢
P14 ③デザインウェーブ'91
P16 ④全国勤労者綱引大会
P18 特集/科学技術プラン
トビックス/脱スパイクタイヤ
PIN UP TOYAMA
●表紙撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
「手をかけて育てる緑にさわやか郷土」
をテーマに、第七回富山県育樹祭が十月二日、滑川市の東福寺野自然公園で約千四百人が参加して開催されました。時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、花とみどりの少年団員等は、楽しく育樹活動を行いました。



●表紙撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
「手をかけて育てる緑にさわやか郷土」
をテーマに、第七回富山県育樹祭が十月二日、滑川市の東福寺野自然公園で約千四百人が参加して開催されました。時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、花とみどりの少年団員等は、楽しく育樹活動を行いました。

県政については

- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)

物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

消費生活については

- 消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

交通事故については

富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400

相談110番

家庭問題・悪質商法・寛
せい刑など、どんな相談
にも応じます。

☎(0764)42-0110

シルバー110番

高齢者や家族の心配ごと、
悩みごとに富山県高齢者
総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

テレビ広報

- チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45
「志の輔・陽子のふるさとトーク」
- 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30
「こんにちは富山県です」※翌日同時間再放送
11/3 楽しく充実 生涯学習
11/10 生活にゆとりを
11/17 富山の文化財
11/24 伝統産業と技
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をク
リアなサウンドでおとどけしま
す。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日、
朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

♥大門町「匠の里」におじゃま
しました。誰でも手軽に陶芸が楽し
める施設で、この日も施設長の山
内さん自ら、外国の方を相手にろ
くろ実習をしておられました。外
国の方はぐるぐるまわる粘土の塊
に悪戦苦闘していました。山内
さんの手ほどきで、立派なつぼが
完成しました。さすがつぼを心得
ておられる方だけある...!?

◆埋文センターで多くの土器のか
けらを見ているうちに、小学校低
学年のころ、よく拾い集めていた
ことを思い出した。まだ残ってい
るか、家のまわりを探してみる
と、納屋のわきに積みあげてある
のを見つけ、なんとなくうれしく
なり、小一時間ほど眺めてしまっ
た。(A)

★パラリンピックというよりも、
もっと練習をつんでオリンピック
に出演してみたい。という加門君
水泳にかける燃えるような情熱に
思わず頭が下がります。大きな夢
の実現に向けて、力一杯泳ぐ加門
君。アトラクタでの活躍が楽しみ
です。(M)

※おわび
10月号のとやま心象で一部写真の上下が逆
になっていました。深くおわび申し上げます。



写真/風間耕司(日本写真家協会会員)
文責/岡田順一(富山エディターサロン会員)



〔富山市民プラザ〕

都心の再開発は、

心の再開発

都市が大きくなるにつれて周辺への機能分散が進み、
都心機能が空洞化することがある。それが商業的な地
盤沈下であったり、文化的な衰退であったりする。巨
大な首都は別格としても、明確なアイデンティティが
求められる地方都市においては、魅力ある都心こそ、
その都市の顔であり魅力そのものである。
そういう意味では、「富山市民プラザ」は都心に新た
な活力を与え、歴史的、文化的、経済的に未だ大きな
潜在力を持つ地域の特性を最大限に生かし、市民に対
してもその施設利用を通して、都市型ライフスタイル
を提案する、新しい顔になっている。もちろん、都
市型ライフスタイルと言っても歯の浮くようなイメー
ジだけの提案ではない。都市機能の中で何を分担し、
何を提案しているのか、それを読み取るには、建築本
体を見て、歩いて、感じてみるのだ。建築が立休物
である以上、その空間の中に入らねば理解できないも
のが当然あり、そこに建築の醍醐味がある。
ライフスタイルに話を戻せば、近年、生活にはハレ
とケの変化があると言われる。それは冠婚葬祭という
儀式のことばかりでなく、日常生活の中のハレとケの
変化である。仕事の後で演劇や演奏会、その後食事を
楽しむというスタイルや、余暇時間に講演会や教室に

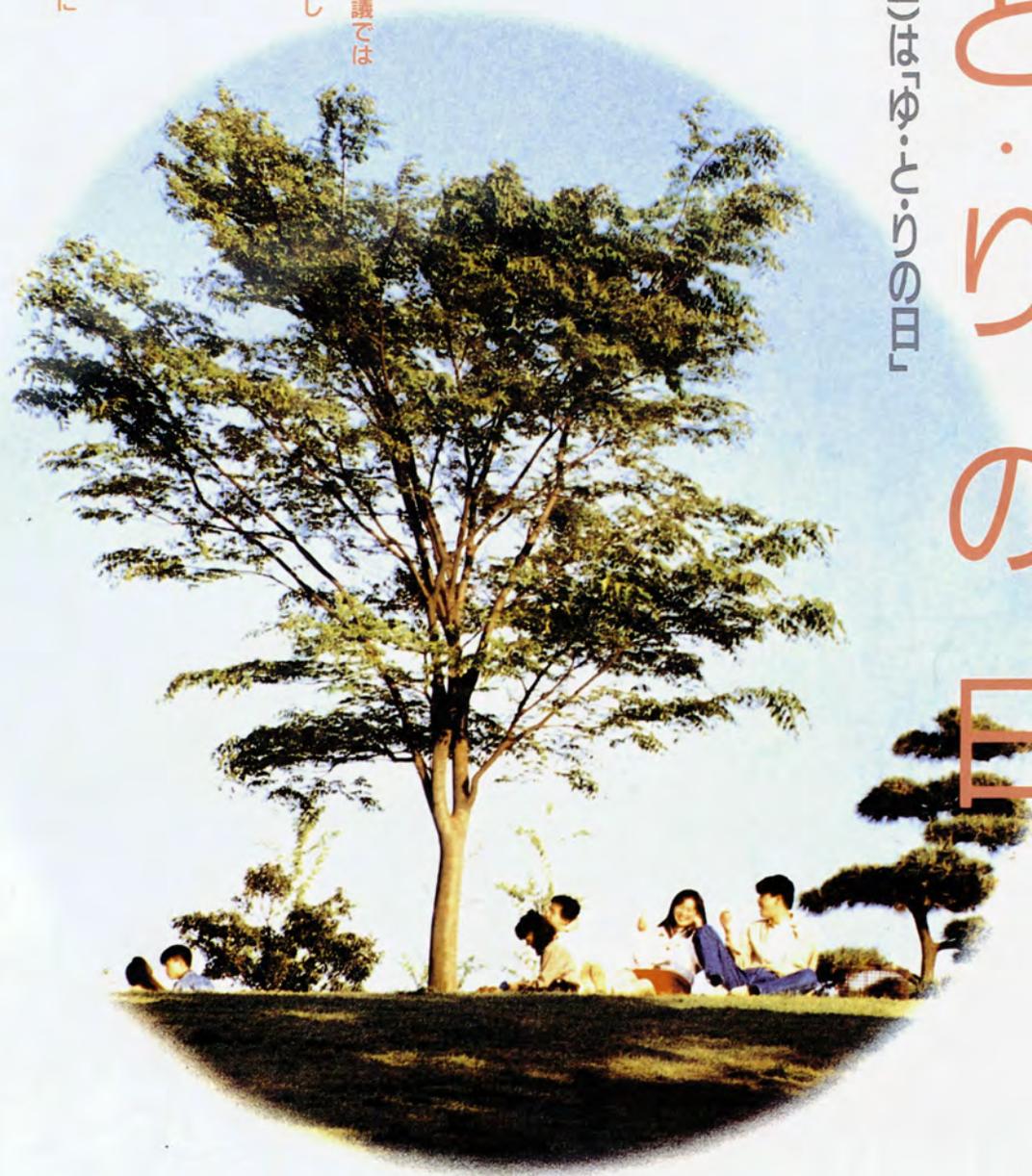


出かけるというスタイルは、特別な日(ハレ)の話で
はなく、ごく普通の日(ケ)のこととして意識され、
それでいて気持ち少し高揚するような生活スタイル
が求められている。しかも、それが衣食住・遊...等
など、様々な生活シーンの中で行われているのである。
まさに「富山市民プラザ」は、そんな人々のニーズ
にこたえるべき機能とその提案、そして、その機能をも
って都心の再開発を担った複合施設なのである。日常
的な生活リズムの中で利用する施設としては、かなり
都市的かつハレ的な雰囲気漂わせる建築デザインで
あるが、その意味するところが既存の施設との違いで
あり、目的であるということを理解せねばなるまい。
また、合わせて計画された「大手モール」は建築と
周辺空間のデザインが妙に見事に表現した秀作で、施
設本体とその周辺空間が創出する街づくりの評価は、
周知の各受賞歴を見ても明らかである。中でも、建築
本体とモールの街路照明が演出する夜の景観は、新し
い市民の憩いの場になっている。ただ、一群の施設は
利用する側の文化水準が試されるような一面もあると
いう意味では、街づくりの「実験劇場」でもある。そ
れだけに、使いこなせない人を見るにつけ、心が痛む
のは私一人ではあるまい。どうやら、都心の再開発は、
都市に暮らす心の再開発でもあるらしい。

ゆ・とりの日

■11月16日(土)は「ゆ・とりの日」

ゆ・とり推進富山県民会議では
ゆーとぴあ富山をめざし
ビレんテイセンスで
りフレッシュ
をキャッチフレーズに
「ゆ・とりの日」を提唱。
家族で、地域で、心身ともに
リフレッシュしましょう。



提唱/ゆ・とり推進富山県民会議



JET'92

FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92
第1回ジャパンエキスポ富山'92

会期/平成4年7月10日金—9月27日(日)80日間 会場/県民公園太閤山ランド